

誰もが宇宙で生活できる世界を創る



KOBAYASHI RYOHEI

小林 稜平

株式会社ElevationSpace

代表取締役CEO



「誰もが宇宙で生活できる世界を創り、人の未来を豊かにする」をミッションに掲げ、2040年までに有人宇宙技術を獲得することを目指しています。そのために、まずは「行って帰ってくる」ための大気圏再突入・回収技術を無人小型衛星で獲得し、ポストISSを担う企業として、宇宙環境利用の場を提供していきます。

.....

●PROFILE

[1997年生まれ]秋田高専在学中の19歳の時に宇宙建築に会い人生が変わる。東北大学にて建築学と宇宙工学を専攻し、修士号(工学)を取得。人工衛星開発プロジェクトや次世代宇宙建築物の研究に従事し、宇宙建築関連コンペで日本1位、世界2位を獲得。大学院在学中の2021年2月、株式会社ElevationSpaceを起業。アジア地域から世界を変える30歳未満のリーダーForbes 30 UNDER 30 Asiaに選出。

●座右の銘

Who Dares Wins (敢えて挑んだものが克つ)

●会社所在地

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1東北大学マテリアル・イノベーション・センター401号室青葉山ガレージ

●事業紹介

国内民間企業初の大気圏再突入技術獲得により、宇宙で実証・実験→地球に帰還→回収可能な無人小型衛星による宇宙環境利用・回収プラットフォーム「ELS-R」を提供。

●創業年

2021年

●コメント

人間の生活圏が宇宙へ広がる将来においては、地球と宇宙を往復する技術のみならず、衣食住やエンターテインメントなど生活を支えるあらゆるものが宇宙で必要になります。宇宙での実証機会そのものを増やし、宇宙環境を利用しやすいものに変える国内唯一のソリューションとして、先駆的な役割を果たしてまいります。また、ふるさと東北を宇宙産業で活性化させることを目指し、「東北から宇宙へ」、事業を展開していきます。

会社の特徴

常識にとらわれない宇宙開発で、「東北から宇宙へ」

人工衛星開発には、自動車や航空機など様々なものづくりの経験を生かすことが可能です。異分野のノウハウを結集し、従来の概念に囚われない新しい視点での研究開発を行っています。全国から優秀なエンジニアが仙台に集まり、組織が拡大することで、新たな産業となり、東北経済を“宇宙”で発展させることを目指します。



▲ ELS-Rのイメージ

事業・サービスの強み

高頻度・短リードタイムで、誰もが気軽に宇宙環境を利用できる

ELS-R事業は、宇宙での実証・実験環境を提供し、衛星が地球に帰還することで成果物をお客様へお返しするという国内唯一のサービスです。ELS-R技術の応用により、有人宇宙施設で行った実験成果物を地球に持ち帰る機会も増やすことで、宇宙環境を誰でも気軽に利用できるものに変革していきます。



▲ 大気圏再突入イメージ